

# 井尻公民館だより

(2023年7月1日発行)

<令和5年7月号>

(第232号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ( )  
主事 相澤陸奥実 ( )

七夕の逢はぬ心や雨中天

松尾芭蕉



絵手紙愛好会 小澤澄子

今年は桜と桃の花が一緒に咲くそんなことから始まり季節が進み、農作業も重なり忙しい日々です。6月に入り、各地で「線状降水帯」が発生し記録的な大雨での災害も発生しました。ここにきて暑さも続き夏を感じさせる日々もある梅雨空模様です。

ジイジイぜみも、俺たちの季節だぜ、早く梅雨、明けないかと鳴いております。

果実栽培農家さんは、さくらんぼから始まり、すもも、桃の収穫出荷で忙しい季節にもなってきました。ご苦労様です。

コロナも「5類」扱いに変わり我々は、何年か前のことを忘れてしまった様な、今日この頃です。しかしウイルスとて自分達が生き延びる為には変異を繰り返かえし、人間の弱点に切り込んでくると思いますよ。油断せず今まで学習した事を教訓とし、日々の生活に邁進していきましょう。

今月の下旬から学校も夏休みに入っていきます。暑くも 楽しい季節です。

皆様もお変わりなくお過ごしでしょうか。夏バテしないように、留意して下さい。

## お知らせ

### 童謡フェスティバル再開のお知らせ。

生涯学習市民協議会はいくつかの事業計画が行われております。その中で、例年、2月に甲州市生涯学習市民協議大会が開催されます。1部は子供たちの意見発表、2部に童謡フェスティバル、3部に童謡コンサートが行われております。

コロナの感染防止のため密集化する童謡フェスティバルのみ中止としてきましたが、令和6年2月17日(金)の大会より再開予定です。状況により変更なる事も有ります。ご承知おきください。

当公民館も参加しますが、練習会に関しては「だより」にてご案内致します。

## 公民館運営委員会

令和5年度運営委員会を6月9日午後7時30～開催しました。  
退職、転勤、学校の先生方、並びに食改委員の方の運営委員が変わりました。新たに次の方々です、宜しくお願いいたします。

井尻小学校校長 土屋弘明 食改 小林茂美  
松里中学校校長 辻 純二

### 議事

- (1) 令和4年度活動報告について
- (2) コロナの感染対策に基づくチェックについて
- (3) 公民館の現状と今後の活動について
- (4) その他

以上協議を行いました、多くの委員さんから意見、アドバイスも頂きました。

今後も委員の方々の協力も頂き活動に邁進して参ります。



## 北風と太陽

北風と太陽がお互いの力について言い争っていた。  
議論ばかりしていてもしかたがないので、勝負をしようという事となった。  
最初の勝負は、旅人の帽子をとることだ。

始めに、太陽が旅人を照りつけると、旅人は日差しを避けようと帽子を深くかぶり、  
けして脱ごうとはしなかった。

今度は、北風が思いっきり強く、ビューと吹いた、すると、旅人の帽子は簡単に吹き飛んでしまった。

次の勝負は、旅人の上着を脱がすことだ。  
始めに、北風がありったけの力で、ビューと吹きつけた、しかし、旅人はふるえあがって、  
上着をしっかりと両手で押さえるばかりだった。

今度は、太陽が旅人を照らした、すると、旅人は上着を脱いで、気持ちよさそうにのびをした。

この話の教訓は、何事においても、そのつど適切な手段を選ぶことが肝要で有るということだ。

旅人の帽子をとるには北風が適していた、上着を脱がせるには太陽が適していたと言う事だ。

要するに臨機応変の大切さを説いている。

社会で成功している人や組織ほど、自信を持っているという意味で頑固である、しかし過去にうまくいったからといって、これからもずっとうまくいくとは限らない、成功は人を頑固にする。

成功の記憶はときには耳栓となってしまう、まわりの環境が変わってしまっているのに、過去の勝ちパターンにしがみつくとよくある事だ。

日本は戦後、国民皆の懸命に頑張りで GNP がアメリカに次ぐ経済大国となってきた国民もそれなりに豊かになり、そして、バブルとなり皆が踊っていた、しかし、1991年頃、バブル崩壊で経済にブレーキがかかり景気減退し、企業の給料も増えず、デフレのスパイラル状態、失われた 20 年いや 30 年である、時が変われば、選ぶべき手段が違って当然である、熟慮のうえ、適切な手段を選ばなければならない。

しかしながら、いまだに、過去の勝ちパターンにしがみついている。

いま企業には内部保留金 650 兆円もあるとの事、理由には先が不安だからとある、有効に活用されていない。

今や世界はアナログからデジタル技術へと猛スピード進んでいて、新たな経済の力となって来ている、そのための社員の再教育、有能人材の獲得、そして、賃金アップによる、やる気の向上とコミュニケーションの構築を図る等への投資が必要と感じる。

～時が変われば、選ぶべき手段が～

参考文献「座右の寓話」



(川柳)

楽しんで後は淋しいクラス会  
 楽勝となめてかかってメタメタに  
 楽器から人柄響く深い音  
 一日に一つ楽しさみつけだす  
 楽しいと好きな事では時忘れ  
 行く先は天国なのか極楽か  
 新しき友増え楽し五七五  
 二人でね苦楽を共に分ち合い  
 苦も楽もすべて脱ぎ捨て露天風呂

(井尻公民館川柳愛好会) 2023/5/26

(短歌)

(古屋和子)

梅雨入りの発表があり葡萄園  
 天気予報を気にする日々や

水無月は家の周辺果樹園も  
 草がはびこり草には負ける

(俳句)

ランドセル放りてほほづき鳴らす子ら  
 疲れたる裾這ひのぼる山の蟻  
 雨含む風の山路や花ぎぼし  
 口上の囁れて緋に灯や鬼灯市  
 葉の蔭に小さき闇あり花擬宝珠  
 山ゆけば擬宝珠の白の花段々  
 擬宝珠の花うつむきて蜜滴る  
 鬼灯市品良く値切る買い上手  
 夕さりて鬼灯市を濡らす雨

(井尻公民館俳句愛好会) 2023/6/10

(久保 晃)

天候は荒れて着るも慌し  
 農作物の影響憂う

一回の気温変化に戸惑うは  
 人だけでなく全てのものに



- (久保 晃)
- (三井厚子)
- (田辺たみ子)
- (古屋典子)
- (雨宮江身子)
- (石垣まさ子)
- (中村廣一)
- (関口正次)
- (飯島武志)
- (飯島武志)
- (野村可ね子)
- (飯島和子)
- (増田英仁)
- (小林昂平)
- (三森美恵子)
- (鶴田光子)
- (小笠原一子)
- (三柵 淳)